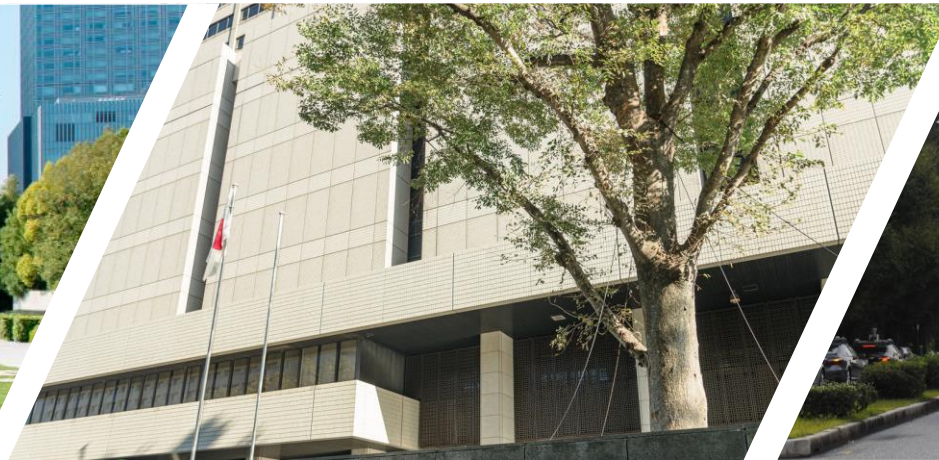




# 日本国憲法⑤ 「精神的自由権①」





# 講義の内容と到達目標

---

## 講義の内容

- 今回の講義では、精神的自由権のうちの、思想・良心の自由、信教の自由を取り扱います。それぞれの自由について、その定義と保障範囲について、それぞれ解説していきます。概念的なイメージにとらわれず、具体的な人権の保障のあり方を学修しましょう。

## 到達目標

- 思想・良心の自由とは何かを理解することができる。
- 思想・良心の自由の保障範囲を理解することができる。
- 信教の自由とは何かを理解することができる。
- 信教の自由の保障範囲を理解することができる。
- 政教分離原則の意義を理解することができる。

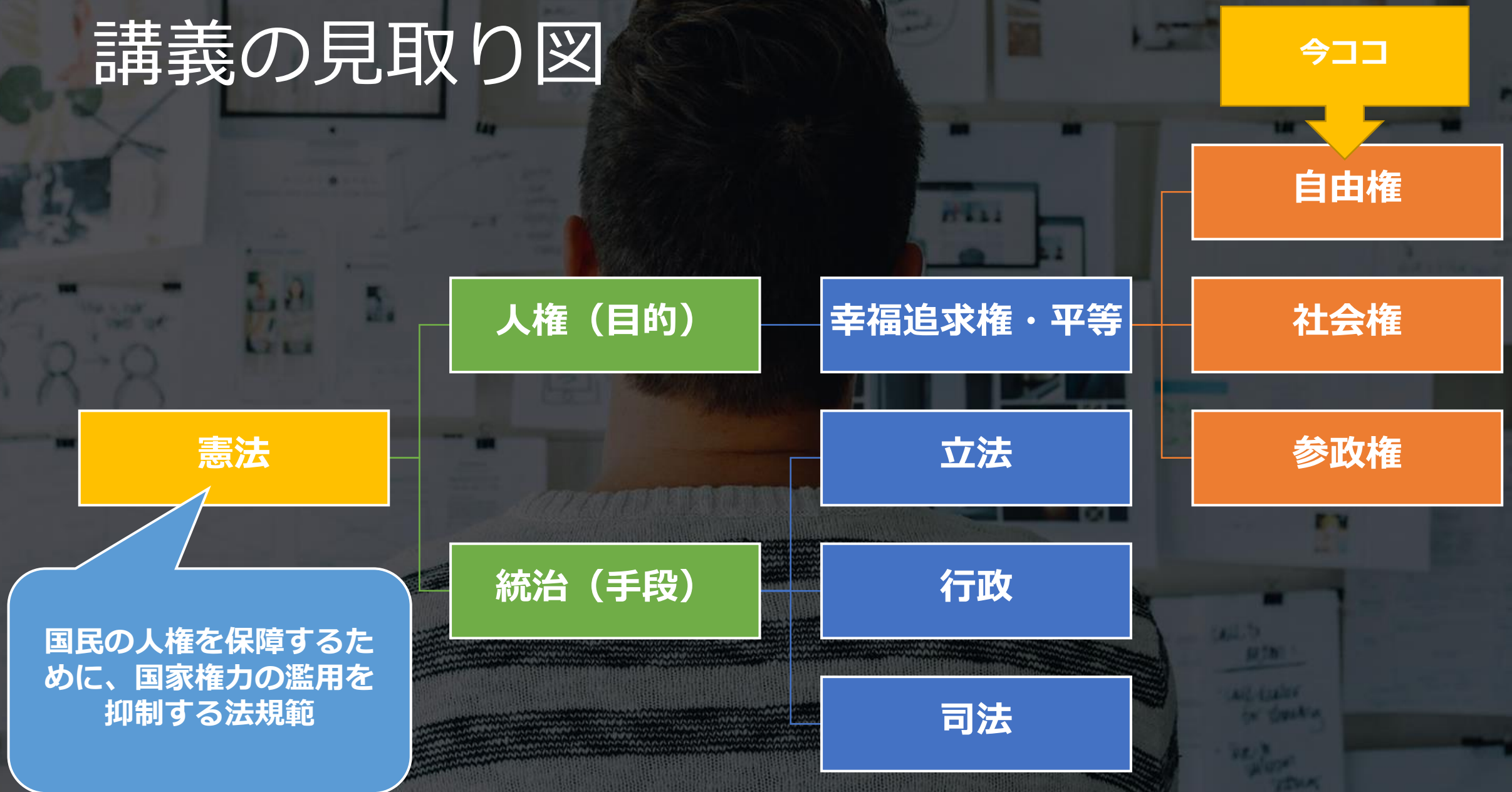
# 今回の講義の 目次

1. 思想・良心の自由とは何か？

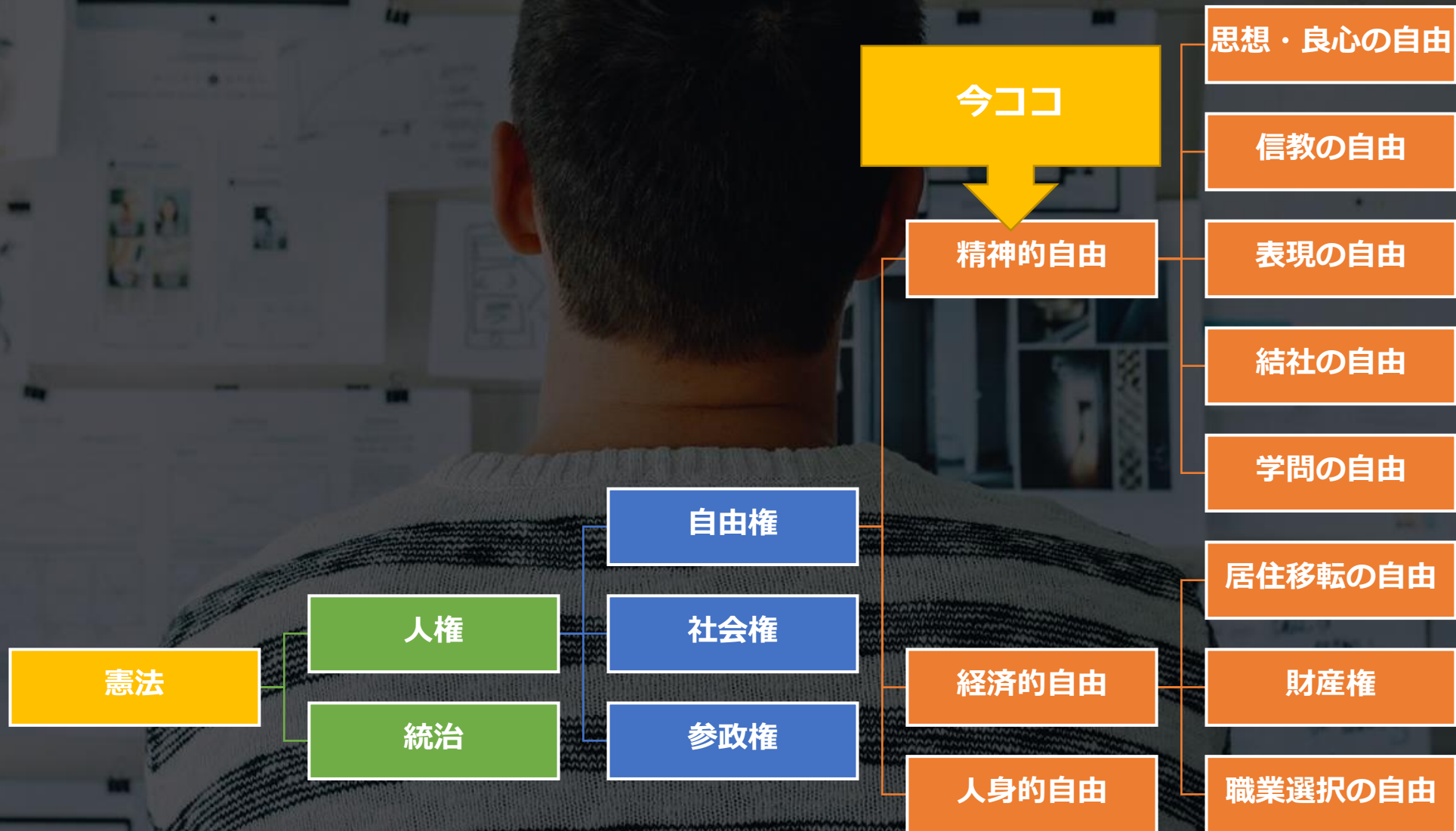
2. 信教の自由とは何か？



# 講義の見取り図



# 講義の見取り図





# 今回の講義の問い①

---

## 1. 思想・良心の自由とは何か？

精神的自由の根源である「**思想・良心の自由**」の意義とその保障範囲を学びます

A decorative background on the left side of the slide featuring several 3D question marks. One large orange question mark is in the foreground, while several smaller black question marks are scattered in the background.

# 今回の講義の問い②

---

## 2. 信教の自由とは何か？

**「信教の自由」**の意義と  
その保障範囲を学びます

A decorative background on the left side of the slide featuring several 3D question marks. One large orange question mark is in the foreground, while several smaller black ones are scattered in the background.

# 今回の講義の問い③

---

2'. 政教分離とは何か？

「**政教分離原則**」の意義を  
学びます





# 個別の人権の学修の仕方 (本講義に入る前に・・・)

人権については

- ① **内容**
- ② **保障範囲**



に注意！

# 1. 思想・良心の自由 とは？

「思想・良心の自由」とは、  
**どのような権利**  
でしょうか？





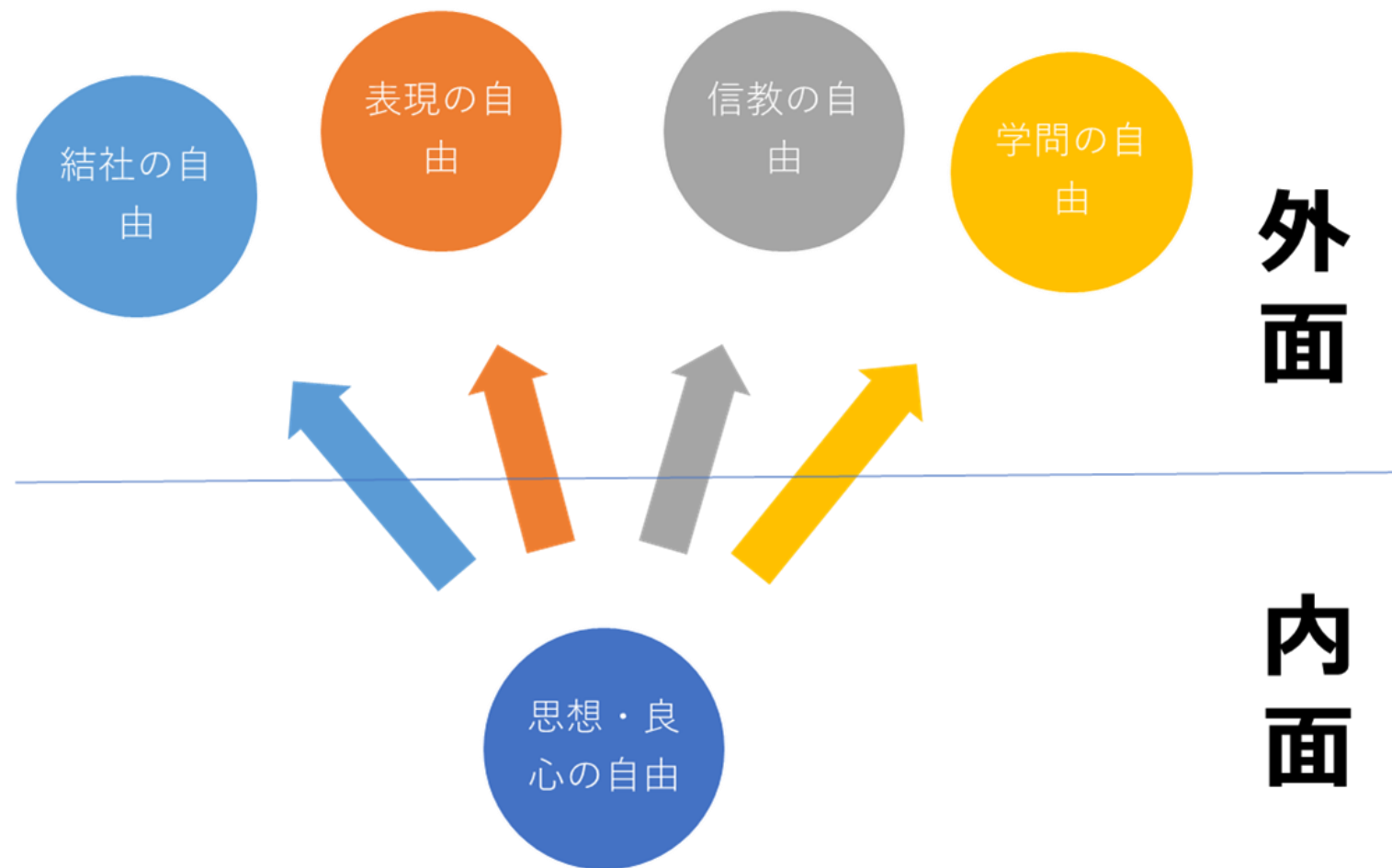
# (1) 思想・良心の自由とは

---

## 憲法 19 条

「思想及び良心の自由は、これを侵してはならない。」

思想・良心  
の自由は  
精神的自由  
の**根源**





表現  
行為

行動



すべての精神的自由は、  
思想・良心  
の自由の  
**発現**

思想・良心の自由は**なぜ保障されるようになったのか？**

戦前期における思想統制



思想・言論・結社などについて、  
治安維持法などによる規制



## (2) 思想・良心の自由は どこまで保障されるか？

### 保障範囲

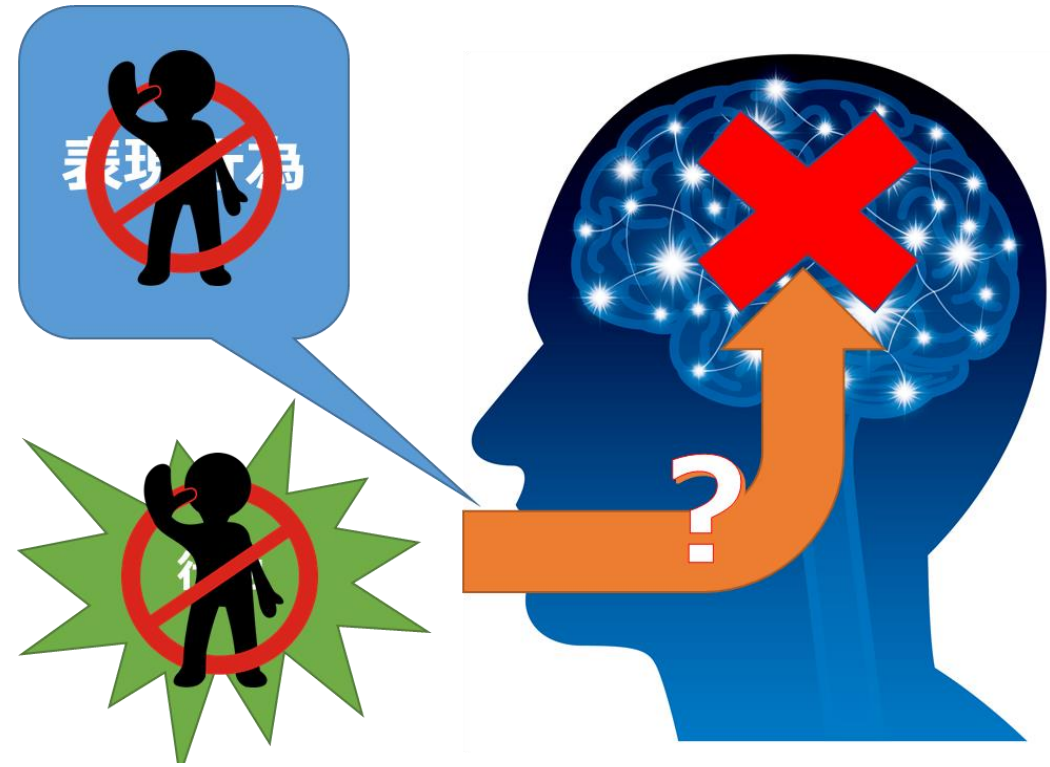
内心にとどまる限り、保障は絶対的  
他の利益、人権と衝突することがな  
いから「公共の福祉」による制約  
もあり得ない




# 本当に**絶対的に**保障されるのか？

人の内面の精神的活動は外部  
的行為と密接不可分の関係

外部的行為の規制を通じた、  
内心の自由の侵害が問題







## (3) 思想・良心の自由の 具体的内容と問題局面

---

### ① 沈黙の自由

- ・ 人の内心の表明を強制されない自由
- ・ 裁判における証言義務
- ・ 公務員の服務宣誓



## (3) 思想・良心の自由の 具体的内容と問題局面

---

### ② 思想を理由とする不利益取扱いの禁止

内申書における不利益記載

(【麴町中学内申書事件 最判1988年7月15日判時  
1287号65頁】)

国旗・国歌法

(【君が代ピアノ伴奏拒否事件・最判平成19年2月27日  
民集61巻1号291頁】)



## 2. 信教の自由（20条）

「信教の自由」とは  
**どのような権利**  
でしょうか？

# (1) 信教の自由 とは何か？

## 明治憲法28条

「日本臣民ハ安寧秩序ヲ妨ケス及臣民タルノ義務  
ニ背カサル限ニ於テ信教ノ自由ヲ有ス」

- ⇒伊勢神宮を別として、神社を官社、諸社に分類
- ⇒社格制度……神職には官公吏の資格を付与
- ⇒建前上は宗教ではなく、28条違反にはならない

## 戦後……総司令部から神道指令

あらゆる宗教を国家から分離





# （１）信教の自由 とは何か？

## 宗教とは何か？

- 「『超自然的、超人間的本質（すなわち絶対者、造物主、至高の存在等、なかんずく神、仏、霊等）の存在を確信し、畏敬崇拝する心情と行為』をいい、個人的宗教たると、集団的宗教たると、はたまた発生的に自然的宗教たると、創唱的宗教たるとを問わず、すべてこれを包含するもの」（名古屋高判昭和46年5月14日）



## (2) 信教の自由の保障範囲

保障	内容
内心における 信仰の自由	<p>①内心において、特定の宗教的信仰を持つ自由、持たない自由</p> <p>②宗教的信仰を変更する自由。</p> <p>③宗教的信仰を告白する自由、しない自由</p> <p>⇒思想・良心の自由の宗教的側面。<b><u>絶対的な保障が及ぶ</u></b></p>

## (2) 信教の自由の保障範囲

保障	内容
宗教的行為の自由 (宗教活動の自由)	①宗教的行為（礼拝、祈祷など）を行う自由、行わない自由 ②布教活動を行う自由、行わない自由
宗教的結社の自由	信仰を同じくする者が宗教団体を設立し活動する自由、あるいはそのような結社を作らない自由、加入しない自由

### (3) 信教の自由はどの程度まで保障されるか？

#### 保障範囲

- 宗教的信仰の自由は、内心の信仰に関するかぎり、絶対的に保障される。
- 内心の信仰にもとづく外部的行為は、その限度で、一定の限界を負う





## (4) 信教の自由が特に問題となるのは、宗教的行為に対して不利益が課された場合

### 具体的事例

- 【加持祈祷事件・最大判昭和38年5月15日刑集38巻4号302頁】
- 【牧会活動事件・神戸簡判昭和50年2月20日刑月7巻2号104頁】
- 【キリスト教日曜日参観事件・東京地判昭和61年3月20日】
- 【工木バの証人剣道実技拒否事件・最判平成8年3月8日民集50巻3号469頁】





## 2'. 政教分離とは？

---

政教分離とは**政治と宗教が**  
**分離しているということ**  
を意味するのでしょうか？



# (1) 政治と宗教の関係

---

## 各国の対応

- 国教制（イギリスなど）
- 公認宗教制（ドイツ、イタリアなど）
- 分離制（アメリカ、日本など）⇒神道指令



## (2) 政教分離の意味

### 日本国憲法

- 第20条1項：信教の自由は、何人に対してもこれを保障する。いかなる宗教団体も、国から特権を受け、又は政治上の権力を行使してはならない。
- 第3校：国及びその機関は、宗教教育その他いかなる宗教的活動もしてはならない。
- 第89条：公金その他の公の財産は、宗教上の組織若しくは団体の使用、便宜若しくは維持のため、……これを支出し、又はその利用に供してはならない。



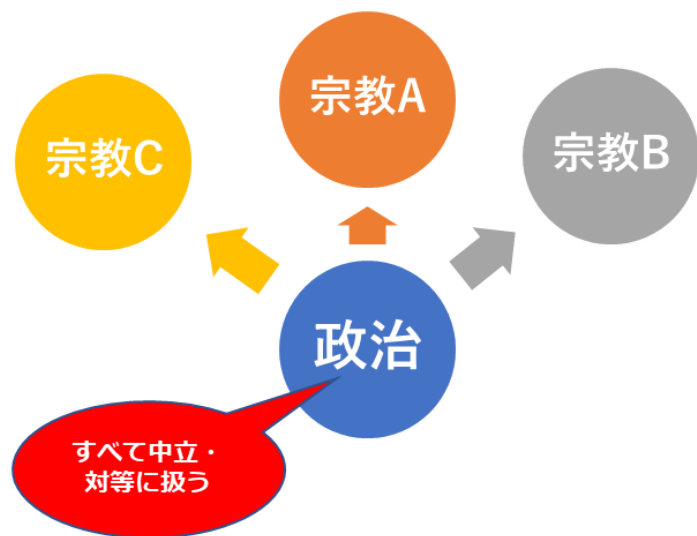


## (2) 政教分離の意味



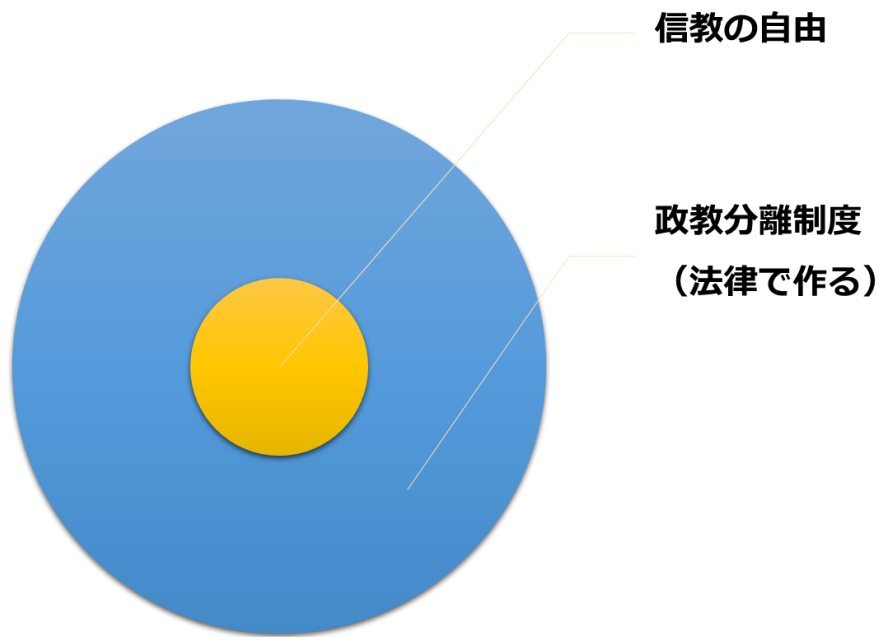
### 「宗教的中立性」と「非宗教性」

- 国家の「宗教的中立性」（複数の宗教が存在することを前提に、すべての宗教に対する平等な取り扱いを要求）と、国家の「非宗教性」（国家生活から、あらゆる宗教的要素を排除することを要請）の違い



## (3) 信教の自由との関係

---



### 制度的保障（判例・通説）

信教の自由の保障を強化するための  
手段・制度としての政教分離

## (4) 政教分離原則の保障内容

保障内容	注意点
宗教団体への特権付与の禁止	一定の要件を満たす国民・団体一般への利益供与の際、その中に宗教団体が含まれていても、原則として特権付与にはならない。 例) 公益法人等非営利法人に対する免税措置の一環としてなされる宗教団体への免税措置
宗教団体による政治上の権力行使の禁止	宗教団体が、政治に影響を及ぼすような活動を行うこと自体は、宗教団体の構成員にも政治活動の自由が認められる以上、認められる。これを認めない場合、かえって宗教を理由とした差別を容認することになる。(国家の「宗教的中立性」) 例) 創価学会と公明党、立正佼成会の自民党支持など

## (4) 政教分離原則の保障内容

保障内容	注意点
国家による宗教的活動の禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>・【津地鎮祭事件・最大判昭和52年7月13日民集31巻4号533頁】</li><li>・【自衛官合祀事件・最大判昭和63年6月1日民集42巻5号277頁】</li><li>・【愛媛玉串料事件・最大判平成9年4月2日民集51巻4号1673頁】</li><li>・【中曽根康弘総理靖国神社公式参拝事件 大阪高判平成4年7月30日】</li><li>・【小泉総理靖国参拝訴訟 最判平成18年6月23日】</li></ul>
宗教団体への公金支出の禁止 (89条)	<p>政教分離原則を財政面から保障するもの。</p> <p>→重要文化財保護のために行う寺院等への補助金支出は可能。</p> <p>→宗教団体が行事等を行うために、公道、公民館等の施設を利用することは、国民の場合と同じ条件のもとであれば可能。(国家の宗教的中立性)</p>



## (5) 政教分離原則違反の判断方法

### 判例の立場

- **目的効果基準**：問題となる政府の行為の目的が宗教目的であり、その効果が特定の宗教を援助・助長する行為である場合には、政教分離原則違反となる。



# まとめ



## 1. 思想・良心の自由とは何か？

- ・内心にとどまる限りは絶対的に保障される

## 2. 信教の自由とは何か？

- ・内心にとどまる限りは絶対的に保障される
- ・外部行為は一定の制限がある

## 2'. 政教分離原則とは何か？

- ・宗教的中立性と非宗教性の違い